



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会専用 アンチ・ドーピングラボラトリー運営業務委託の契約変更

大会運営局 医療サービス部
アンチ・ドーピング課

2020年12月16日

原契約の概要

事項	内容
件名	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会専用 アンチ・ドーピングラボラトリー運営業務委託
受注者	株式会社LSIメディエンス
契約方式	特別契約
契約期間	2017年4月1日から2021年3月31日まで
概要	<p>2020年東京大会においてドーピング検体分析を担う東京2020大会ラボラトリー（大会ラボ）の運営を行う。</p> <p>WADAが提示する技術基準を満たし、WADAのアンチ・ドーピングラボラトリー認定取得、検体分析、検体保管及び移送、WADA・IOC・IPCまたは組織委員会からの要請に応じた大会実施運営上必要な情報提供並びにこれらに付随するラボスタッフのトレーニング、作業手順書等各種必要書類の作成等を実施する。</p>

契約変更内容の概要

委託契約先	予定契約期間	契約金額
株式会社LSIメディエンス	2017年4月～2022年3月（1年延長）	V5予算の範囲内

<主な契約金額増加要素>

- (1) 大会延期に伴う大会ラボの建物賃借の延長
(ラボ建物賃借料、ラボ建物管理費 等)
- (2) 大会延期に伴い、大会時に適用されるWADA規程改正等に対応するための準備業務や分析機器の品質を維持する定期的なラボ稼働
(人件費、分析試薬品および物品費 等)

大会ラボと既存ラボの一体的な運用

○東京2020大会のドーピング分析を行う大会ラボとその他の大会等の分析を行う既存ラボは、現在別の場所で運営中。

※大会ラボ、既存ラボのどちらもLSIメディエンスが運営

○2020年4月、WADAからLSIメディエンスに対し、既存ラボで行う通常分析業務を大会ラボで実施する旨指導があった。

期間：2020年12月から2021年6月まで

目的：本番環境下での総合的な運用、分析員のスキル向上等により、本大会における円滑な稼働に備えるため

⇒上記期間については大会ラボで通常分析業務も行われるが、通常分析業務の経費を明確に切り分けた上で、本委託業務を実施する。